

平成30年2月16日

日高農業改良普及センター

札幌管区气象台によると、2月16日夜に日本海で発生する低気圧が急速に発達しながら本道に接近し、17日には別の低気圧が太平洋側の海上で発生し発達することが見込まれております。

このため日本海側南部や太平洋側では雪を伴った風が強く吹き、暴風雪となるおそれがあります。局所的にこれまでの記録を超える積雪深となっている所がありますので、引き続き随時発表される気象情報に十分注意し、対応に努めてください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

【園芸ハウス】

- 1 育苗等栽培中の施設ではビニールやハウスバンド等の各部の損傷やゆるみを点検し、必要に応じて補修等を行う。
- 2 落雪により通路部分が埋まると施設の損傷も大きいのでできるだけ除雪を行う。
- 3 ハウスの気密性を高め、加温施設はできるだけ室温を高め、天頂面を暖めて落雪を促す。ただし、作物がある場合は可能な範囲で加温を行う。
- 4 湿った雪は重みでビニールがたるみ、滑り落ちにくくなるので早めに雪降ろしを行う
- 5 ビニールが雪の重みでたわんでいるときは、破れの発生や、裂け目が広がり雪の下敷きになる場合があるので、下から棒で突くような作業は行わない。
- 6 停電に備え、自家発電機や簡易暖房機等を準備し、緊急時に備える。

【酪農】

- 1 交通障害や停電により搾乳や飼養管理に支障が出た場合の問い合わせ先や対応方法を確認しておく。
- 2 前回の搾乳から16時間以内は、搾乳を中止しても乳量や乳質に問題は無い。
- 3 停電で搾乳が行えない場合、牛舎への出入りを必要最小限にし、牛に搾乳刺激を与えないようにする。給水が制限される場合は同時に、濃厚飼料の給与は控える。
- 4 発電装置が手配できる場合は、それらを利用して搾乳・冷却を行う。

【除雪作業等に伴う事故防止】

- 1 除雪作業中は、子供や他の作業員、車両等に十分注意する。
- 2 屋根など高所の除雪作業を行う場合は一人で行わないこと。また、ヘルメット及び命綱など安全策を講じる。